

教員名(Name) : 椎名紀久子

***授業概要 Outline of the contents**

英語や日本語を母語とする乳児、幼児、児童のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く能力）はどのようにして形成されていくのでしょうか。本ゼミでは乳児、幼児、児童の身体発達、認知発達、社会性の発達に言及しながら、コミュニケーション能力の習得課程を概観し、発達段階に沿った、特に乳児と幼児対象の英米の口承文学作品（マザーグース）や「読み聞かせの本」を分析し、一緒に読んだり聞いたり、補助教材作成などの体験を通して、読み聞かせの仕方や読み聞かせによる「ことばの習得」について一緒に学んでいきます。

2020年4月から、小学校3年生、4年生は外国語活動で英語を学び、5年生は英語を教科として学びます。小学校での英語の指導は、児童の認知発達や社会性の発達プロセスに合っている必要があります。単なる中学校英語の前倒しであってはなりません。子供たちの発達段階に即した「異文化理解力」「英語力」「日本語力」を育成したいものです。この授業で学んだことが、将来、小学校の英語教員や英語指導補助の仕事に就いた時、母親、父親、幼稚園の保母さんなどになった時に役立つようにと願っています。

***授業の形式 How the class is conducted**

米国の大学で使用されている教科書を使用し、指定された範囲を毎週各自が読んで要約してくることを前提にしてミニレクチャーを行ない内容の解説をします。次に、各自が理解したこと、理解しにくかったことなどについてグループ単位で議論することで毎回の課題について学び合います。

***課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

下記を総合的に判断して最終的な成績評価を行ないます。

- 1) 授業への参加度（出席回数、積極的な発言、質問など）
- 2) 毎回あるいは数回に1回の割合で行う課題に関する口頭発表のユニークさ
- 3) レポートの内容

***その他 Others**

米国の大学で使用されている英文の教科書の速読力、日本語の文献講読力、レポート作成能力が必須です。使用テキスト（配布）：*Understanding Children and Adolescents*, by J.A.Schickedanz et al. (Allyn & Bacon: Boston). その他